

2019-10-27

ふじさわ・九条の会ニュース

No.58



発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 吉塚晴夫 090-7949-9854

HP(ホームページ) <http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

検索「ふじさわ・九条の会」でも開けます。

参議院選挙での、市民と野党共闘の協力で 改憲3分の2の壁を打ち破った闘いに確信を持ち、安倍改憲を阻止しよう

1. 参議院選挙の結果は、 改憲勢力3分の2割れ、 自民党の単独過数も半数割れ

7月21日行われた参議院で、安倍内閣は3分の2以上の議席確保を狙い、一気に、憲法改悪を目論みましたが、結果は、自民・公明・維新などの改憲勢力、改憲発議に必要な3分の2を割り込むことになりました。前回の選挙では、衆議院も参議院も改憲勢力は3分の2を獲得していましたが、これを打ち破った今回の参議院選挙の結果は、市民と野党共闘の大きな勝利と言えましょう。

2. あくまでも改憲のごり押しを狙う 安倍政権に鉄槌を

ところが選挙が終わったら国民の多くが安倍政権下の憲法改正を望まないという審判をくださったのに、国民の声は国会で改憲の議論を進めてほしいという私の訴えが通ったと選挙の結果をねじ曲げ、秋の臨時国会で議論を始めようとハッパかける始末です。安倍首相は来年の自分の任期中に改憲をやってしまうというのが魂胆です。私たちは、今度の参議院選挙の結果に安堵せず、安倍政権のなりふり構わぬ改憲の策謀を阻止する為に、今後とも一層運動を強化する必要があると思います。

3. 若者や幅広い市民各層と手を結び、 投票率を上げ安倍改憲を阻止しよう 市民目線でたかった 「れいわ新選組」の快挙

しかし、今回も、せっかく統一が実現したのに、投票率が低く、統一候補が落選した事例もいくつかありました。安倍政権には反対なのに投票に行かなければ、いつまでも自公を勝たしてしまいます。こうした状況を変えてゆくために、今、ふじさわ・九条の会が進めている「選挙に行こう」、「安倍政権を止

めさせよう」という訴えを、幅広い市民各層と共に、選挙法の改正で選挙権を得た18才以上の高校生にも引き続き続けてゆく必要があると思います。

また、今度の選挙で特筆すべき事例として、山本太郎氏が率いる「れいわ新選組」が2名の重度身障者の候補者を比例区特定枠で当選させたことです。自らは一般比例区での立候補のため当選には至りませんでしたでしたが、弱い立場の人達の側に立ち、多くの無党派の有権者に投票参加を訴え、短期間の内に当選までこぎつけた闘いは、おおいに教訓に値すべき事例ではないでしょうか。

4. 近隣諸国とは、 あくまでも平和と友好の付き合いで

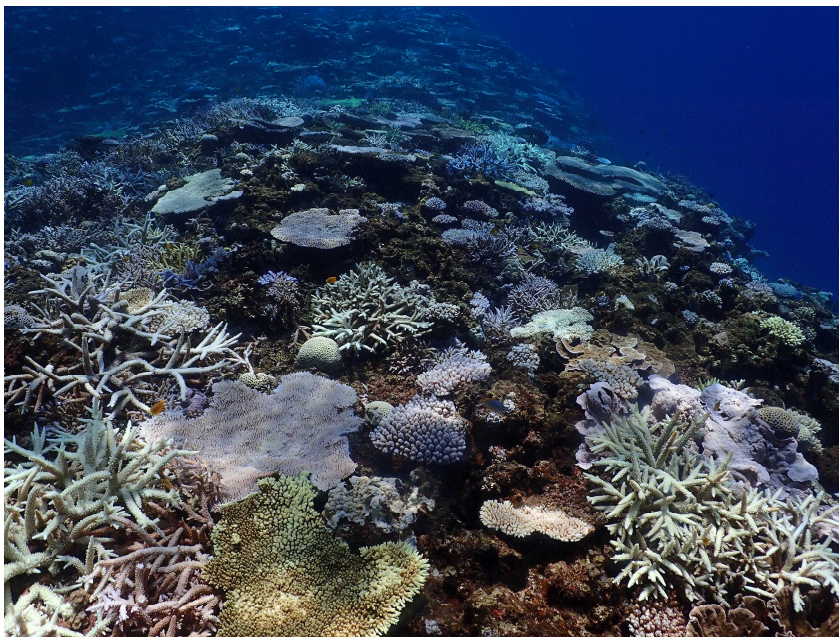
今、隣国である日韓関係が悪化しているのが懸念されます。徴用工問題に端を発した日韓の不和を、これまでは「反韓」、「嫌韓」と言ってきたものを、今度は一部マスコミ等で「断韓」しろとまで言い出したのだから驚いてしまいます。もともと、日本と韓国は、弥生時代、韓国から稲作文化が日本に流入して以来、わが国とは長いつきあいのある国です。一番仲良くしなければならない国なのに、今日のようにいがみ合うようでは何とも情けないことです。韓国併合以来、多大な迷惑を掛けたことは我が国として率直に詫言しなければならぬ問題です。日韓基本条約で、賠償問題はけりが付いていると日本政府は言っていますが、これまでは、個々の個人の問題は別だとお互いの政府も認めあってきたことです。ちなみに、8月1日、ポーランドで開かれた第2次大戦開始80年式典で、ドイツのシュタインマイヤー大統領は「我々はわが国が犯した罪を忘れず、伝えて行く」と語った言葉を、わが国も生かし、近隣諸国とはあくまでも平和と友好のつきあいに徹すべきではないでしょうか。

(小林 麻須男)

さんご礁生態系を守るには埋め立てを止めるしか方法はない

さんご礁生態系は我々の漁業資源などの多様な生き物を育み、沿岸の人々の暮らしを支えてきました。その美しい景観は観光資源としても重要です。しかしなぜか、沖縄では経済振興と防衛の名の下に次々とさんご礁生態系が破壊されてきました。沖縄県の東海岸には、ジュゴンが海草を食みに来ていた辺野古や、大浦湾と呼ばれる深い湾を有する素晴らしいさんご礁生態系がありますが（写真1）、辺野古側では既に埋立が始まっています。

防衛省沖縄防衛局は、新基地を建設するにあたって沖縄県に約束した環境保全措置まで反故にしています。例えば、埋立場所にあるサンゴなどの生き物を工事の前に別の場所に移植すると約束していましたが、移植することなく工事を始めました。さらに酷いのは、普段はサンゴの保全を声高に叫び、国から多額の研究費をとっている東大とお茶大の研究者が、沖縄防衛局の設置した環境監視等委員会に入り、埋立にお墨付きを与えていることです。科学的根拠を無視して政府のストーリーに合わせ、埋め立てを促す発言をすることは、科学者としての責任を放棄したといえます。



（写真1）撮影 牧志治 大浦湾

そもそも、サンゴを移植してもサンゴを保全することはできません。沖縄県では『サンゴ礁保全再生事業』が行われており、過去8年間だけでも10億円以上の税金がサンゴの移植に投じられてきました。しかし、最新の報告でも、移植後の3年後の生残率は30%以下、場所によっては10%以下です。ではなぜ、サンゴの移植が環境保全措置として採用されているのでしょうか。その責任は、サンゴ礁の自然再生事業に関わってきた行政と研究者、サンゴの移植ビジネスに関わってCSR活動としてきた複数の大企業にあります。行政と研究者は、移植サンゴが順調に育って産卵したなど、移植技術の発展や新たな生物学的知見といったポジティブな面ばかりを宣伝し、移植サンゴの多くが死亡したこと、その手入れに多大な費用がかかること、産卵後に多くの赤ちゃんが死亡するといった生物学的には当たり前のこと、これらネガティブに聞こえる事実をほとんど流しません。その結果、サンゴの移植でサンゴ礁が復活するという幻想を人々に抱かせてしまいました。現在でも沖縄では「さんご礁生態系を再生させるための移植ツアー」が行われています。そして、埋立の際にはサンゴを移植さえすれば良いという免罪符となってしまうのです。世界中でさんご礁生態系が減少する中、辺野古大浦湾の環境は日本だけでなく世界の宝です。今、工事を中止すれば、その宝は守られます。さんご礁生態系を守るには埋め立てを止めるしか方法はないのです。

〔大久保奈弥氏のホームページより〕 <https://namiokuboanu.wixsite.com/namiokubo>

こんにちは、大久保奈弥です。

わたしは、サンゴを中心とした海洋生物の基礎生物学的研究と沿岸環境を保全するための活動を行っています。地球の素晴らしい自然を、みんなで未来に残しましょう。

Contribution to Society

海の生き物を守る会 運営委員；生物科学（農文協）編集委員
一般社団法人 日本生態学会 自然保護専門委員



東電旧経営陣に責任はないのか？

9月19日、東京地裁は、福島第一原発事故を巡り、業務上過失致死傷罪で強制起訴（求刑禁固5年）された東電旧経営陣3被告（勝俣恒久元会長 武藤栄元副社長 武黒一郎元副社長）を無罪としました！

福島県では2011年3月11日、東日本大震災による地震・大津波で大被害を受けた上、福島第1原発がメルトダウンして、強制避難となり、右往左往して逃げ回り、当時16万5千人が避難、今も故郷に帰れない避難者が県内外に4万2千人もいます。故郷をうばわれ、生活基盤を失い、家族をバラバラにした原因は津波と原発事故、特に原発事故です。

裁判の争点は「予見ができたか」でした。国の地震本部で、2002年福島県沖等でマグニチュード8クラスの



津波地震が30年以内に20%確率で発生するとの「長期評価」を公表、東電の子会社は‘08年、「長期評価」から最大15.7mの津波が来ると算出、経営陣3人は‘08年6～9月に報告を受けていました。ところが、判決は「予見できなかった」としたのです！！長期評価は「客観的に信頼性、具体性があったと認めるには合理的な疑いが残る」など、被告の言い分を全面的に認めたのです！

誰も3年後に地震が起こるとは予想できませんが、すくなくとも国が税金を使って長期評価をした結果、マグニチュード8クラスの地震の予測、すなわち15.7mの津波到来との予測があったのです。人命第1と考えている経営者だったら何らかの対策を取るのが当然でしょう。

また、判決は「あらゆる可能性を考慮して必要な措置を講じることが義務付けられるとすれば」運転停止しかないとし、それは不可能と断定しました。「絶対的安全性の確保までを前提とはしていなかった」と経営陣を免罪したのです。運転停止以外に電源を地上高く移すとか、何らかの減災に繋がる措置はできたはずです。経営上経費が掛かるので、警告を無視したと言える犯罪です。控訴する事が決まりました。応援しましょう。

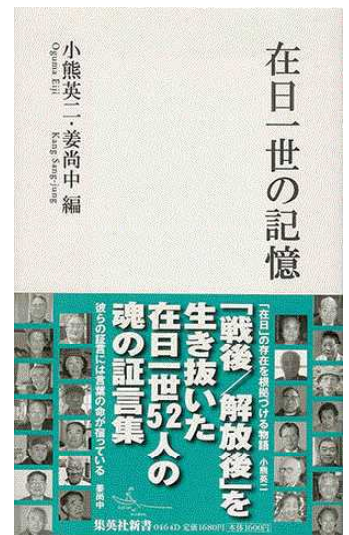
（青柳節子）

「在日一世の記憶」（集英社新書）

小熊英二、姜尚中編を読む

この本は在日一世52人の聞き書き、オーラルヒストリーである。新書とはいえ780ページに及ぶ大冊である。インタビューは04～07年に行われた。あの在特会の活動は07年以降だからヘイトスピーチの破壊作用には、また第二次安倍政権は12年からだから、韓国朝鮮への差別敵視政策には触れていない。だが日本帝国による韓国併合から、戦前戦中を通して徴用工として、徴兵されて、自ら渡航して、また日本で出生してなど様々な形で日本に移住しあからさまな差別、暴力、排除、貧困という筆舌に尽くせぬ理不尽を強いられながら、同胞そして親子で助け合い、必死で生き抜いてきた人々の生活が生き生きと語られている。

私は日韓併合から朝鮮人強制連行の歴史を、知識として知ってはいる。しかし日本にやって来ざるを得なかった人々が名前を有し、故郷と兄弟親族を持ち、日本でどのように生き抜いてきたか、その個別生活を知らなかった。この本にはそれが詳細に綴られている。



戦後、弾圧に負けず不屈の闘志で民族学校や民団、総連の設立運営に邁進した人、ひたむきな努力で自分の会社、商店の発展を実現した人、納税者としての当然の権利獲得に尽力した人、在日の男性と結婚し自ら朝鮮国籍を選択した女性など、実に多様な人々の多様な努力に裏打ちされた、多彩な生き方が語られている。

この本の「はじめに」には「現在の無理解は過去の無知から生まれる。現在について何も知らないなら、過去を理解しようとしても無駄である。」（マルク・ブロック）とある。これは「過去に目を閉ざす者は現在にも盲目となる」（ワイツゼッカー）と共鳴する言葉であるが、ヘイトスピーチが蔓延する安倍政権下に生きる私たちには、それへの阻止行動、朝鮮学校への政府、神奈川県との差別政策をやめさせるための現在の行動が、求められているのである。

（吉塚晴夫）

8月15日「不戦のちかい平和行動」



8月15日、辻堂駅テラスモール側デッキにて「不戦のちかい平和行動」が行われた。その時に「旭日旗」バッジを胸に付けたおじさんが言ってきた。「先の日中戦争では日本人は中国人に、たくさん殺されたんだ。そのことを知っているのか」と。また映画「沈黙―立ち上がる慰安婦」のプロデューサーで、在日の朴麻衣さんがスピーチをしている時に「さっさと国へ帰れ」と言って、通り過ぎた男がいた。

香山リカさんによると、歴史全体の流れを理解せず、一つの証言に対してそれを嘘だと断定し歴史そのものを否定する。こういう考え方を「歴史否定主義」と言うのだそうだ。否定主義を蔓延させるヘイトスピーチに対して、過去の事実や議論を少しずつ丁寧に理解し、順を追って考えていくことで対応していく。それがまっとうなやり方だろう。しかし日の丸、旭日旗の連中に対処するのに「非国民の歌」「非国民国旗」を示すのはどうだろうか。

硬直した思想、こわもての権力には「笑い」でくすぐる、対処することが強力な武器になる。

アベに限らず権力者は、やっていることを笑われるのが最も嫌なのだ。批判鋭いコメディアンが弾圧された例は世界的にも少なくない。あの戦争中でも「贅沢は敵だ」という国策スローガンをもじって「贅沢はステキだ」というパロディもあったのだ。

九条の会ニュースでも「笑い」のコーナーを作ってみてはどうだろう。国会前行動に集結した人々の様々な表現を集めて、12月8日の不戦のちかい平和行動でアピールしてはどうか。ファシストを笑え、権力を笑え、アベを笑え！
(保住正道)



ふじさわ・九条の会学習会 10月6日

弁護士 白神(しらが)優理子さん講演 安倍改憲は地獄の蓋をあける —緊急事態条項を阻止！—

弁護士・白神(しらが)優理子さんは、高校生の時、「平和ゼミナール」にかかわり、学び、知ったことが、その活動の原点となった。それは沖縄のおばあの「命どう宝」への思いへと引き継がれ、今の活動を支えていた。人生の中で、どんな出会いをするか、それは人生を大きく変えることになる、それを今更ながら、改めて考えさせられた。



憲法制定の過程で、緊急事態の条項をあえて入れず、例外を認めなかった、というその制定時の決意は、命の犠牲の上に立つ徹底した日本国憲法の決意そのものだった。それを今、入れさせるわけにはいかない。

希望を語り、行動している若い白神さんの頑張っている姿は、これからの私の勇気となって、心の中に刻まれた。ともすると、若者の政治参加の低さを嘆きたくなるときがあるけれど、戦中戦後を生きた人たちが、憲法を大切に、政治にかかわり、行動するその「背中」は、若者にみえていた。現実の社会で苦勞し、働いている若者に寄り添い、やさしい目線を持ちたい、と思った。自由に集い、語り合う「場所」と「お金」を提供する、そういう支援も惜しまず、若者と連帯していく道がある。

白髪さんの著書に「今、私たちは希望をとりもどすたかひに立ち上がっているのだと思います。」と書かれている。世代を超えてお互いが希望となって抵抗の歴史を一緒に刻んでいきたい。

(持田早苗)

〈お知らせ〉

9の日行動 藤沢駅南口1F

11/9(土)13:30~12/9(月)13:30~1/13(月・休)12:00~

アベ政治を許さない 藤沢駅南口2F

11/3(日)・12/3(火)・1/3(金) 13:00~

不戦のちかい

辻堂駅北口2階通路

12月8日(日)13:00~

世話人会 11/28(木)・12/16(月)☆・1/30(木)

事務局会 11/18(月)・12/16(月)☆・1/16(木)

☆12/16(月)は合同で15:00~、他は18:30~